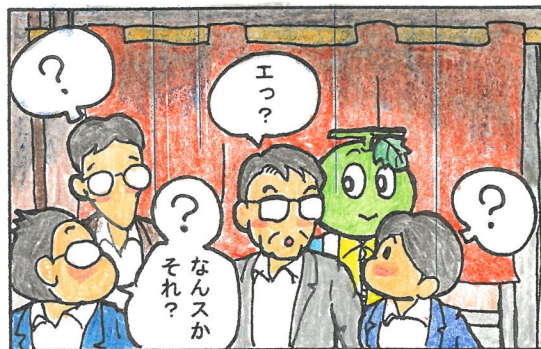


ベルデの
つきがた
グラフィティ 新人キウくん



作
SのAたろう

「月さま 雨が・・・」

「春雨じゃ、濡れていこう」

大正から昭和にかけて芝居や、映画、テレビドラマで人気をばくした幕末時代劇「月形半平太」で、京都を舞台に主演の半平太と傘を差しかける舞妓との会話です。その当時は、今で言えば「かっこよ！」となるくらいの名ゼリフで、半平太の名前は知らなくてもこのセリフだけは子どもたちも真似て使うほどでした。

月形半平太は架空の人物、福岡藩士 月形洗蔵と土佐藩士 武市半平太から名前を合成し、尊皇攘夷を目指す長州藩士、幕末を駆け巡ったヒーローとして描かれています。

ちなみに、月形洗蔵は、月形町の元となる樺戸集治監初代典獄 月形 潔 の叔父にあたり、尊皇攘夷運動にその身を投じた人でした。